



# 勝山

★勝山漢字HP掲載中★

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点とれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama\_es@sch.city.maniwa.okayama.jp

**ご協力をお願い**  
 ■毎朝の検温■マスク着用…無マスク・学校で検温の顔ぶれはいつも同じです。



## 学校評価アンケート 回収率 81.7%

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。さて、12月に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。学校評価アンケートは教育活動等の成果を検証し、児童がより良い教育活動等を楽しめるよう、学校運営の改善と発展をめざすことを目的としています。保護者の皆様には、18項目のアンケートにお答えいただきました。お忙しい中、丁寧に評価・記述をしていただき、ありがとうございました。今回は、児童・保護者・職員について、全体評価についてのポイントのみをお知らせし、次号で記述にかかわる内容をお知らせいたします。今後、職員会議・研修、教育課程の編成等で活用してまいります。今回の回収率は81.7%でした。お忙しい中ご協力ありがとうございました。保護者の皆様の心強いご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

1月23日(土)の講演会。だまされたと思ってご参加を!!子育て観が激変します。やる気を引き出す関わり方、怒りのコントロールが可能に…。

質問項目 1~13 の文頭に、保護者は「お子さんは…」が、職員は「児童は…」が入ります。肯定的評価のみの数値です。

学校評価アンケート(保・職・児)	保護者	教職員	児童		お願い
	R2	R2	R1	R2	
1 楽しく学校生活を送っている	91.4	100	82	84.8	左記のデータを職員に示し、意見や感想を求めました。すると、「保護者は、この数値を見て『職員は子どもたちをよく思っていないのでは?』と誤解をするのではないか」という意見が多数でした。教職員データを載せない選択肢もありますが「善意の流れ」をお願いしている私としては公表することを選びました。一資料として活用してまいります。
2 決まりを守って生活できる	85.1	▲38.9		89.2	
3 あいさつができています	81.0	▲11.1	84	85.8	
<b>4 自分が決めたことは最後までやり抜く</b>	▲76.4	▲61.1		85.8	
5 友達や相手のことを考えて行動できる	86.8	▲55.6	87	85.8	
6 勉強したことはわかっている	80.5	83.3	92	92.4	
<b>7 自分から進んで勉強をしている</b>	▲56.9	▲50.0	62	↑80.6	
8 仲の良い友達がいる、クラスで楽しく過ごしている	94.3	94.4		92.4	
<b>9 外で元気に遊び、自分から進んで運動をしている</b>	▲79.3	94.4		87.2	
10 給食や食事を残さずに食べている	89.1	▲77.8		82.0	
<b>11 早寝早起きをしている</b>	▲68.3	▲55.6		▲75.4	
<b>12 メディアのルールを決めて使っている</b>	▲66.7	▲22.2		▲74.9	
<b>13 「低30分、中45分、高60分」以上の家庭学習をしている</b>	▲52.9	▲50.0	74	▲69.7	
14 勝山小学校の教育活動に、満足している	88.4				肯定的評価とは…3・4の合計です。 4当てはまる 3だいたい当てはまる 2あまり当てはまらない 1当てはまらない ◆は大きな課題
15 必要な情報が学校から提供されている	87.9				
16 学校は基礎的な学力をつけるため努力をしている	91.4				
17 学校は保護者や地域と積極的に連携している	87.4				
18 学校は児童の体力・運動能力の向上に努めている	95.4				

■保護者・教職員・児童評価を見て感じたこと。まず、保護者評価は若干低い傾向にあるものの他校と大きな違いはありません。ところが、児童・教職員評価は特徴的です。児童評価は安定した学校に比べ5~15ポイントも低いのです。Q-Uデータから「生活意欲」の高まりを喜んでいましたが、児童アンケートからは「やる気」「根気」「相手を思いやる心」など、さらなる心育での必要性を強く感じました。また、教職員評価からは保護者と同じように評価している項目がある一方で40%~70%の乖離が見られる項目があります。このような項目こそ保護者・地域・学校が情報共有して関わっていくべきなのです。このアンケートからも勝小の保護者・地域連携の弱さが見えました。分析…裏面に続く…

# 学校評価(児童・保護者・職員)の大まかな分析

**保護者評価**では、肯定的評価を多くいただき、ありがとうございました。しかし、安定した学校に比べ課題は大きいと改めて感じるとともに、なんとしても学校力を上げなければと強く思う機会となりました。どの学校でも**7・9・11・12・13**は、否定的な評価が多いものですが本校でも大きな課題です。また、保護者・職員・児童で多少認識の違いはありますが、世界的な課題となっている**メディアとのつき合い方**については子ども達の健康をむしろんでいる可能性が高く、最重要課題としてPTAや懇談会等でも話題にしたい項目です。

**児童評価**では、「仲の良い友達がいる、クラスで楽しく過ごせている」「勉強したことはわかっている」等、肯定的評価がある反面、「早寝早起き」や「家庭学習の取組姿勢」については子どもなりに課題意識があります。特に、**12**は25%**13**は30%が否定的評価で**子ども自身もメディア活用や学習の仕方に課題を感じている**ようです。■児童アンケートに、保護者・職員アンケートを並べると、**11・12・13**は、三者ともに課題として重なります。特に、**12**の「**メディアのルールを決めて使っている**」は、最も危惧される項目です。学校と保護者と連携し、しっかりと対応すべきところです。また、**11**の「早寝早起き」に課題があると自覚している児童もいます。メディアとのつき合い方の影響が強く感じられます。規則正しい生活習慣をぜひ身につけてほしいところです。**4・7**の「**自分が決めたことは最後までやり抜く**」「**自分から進んで勉強をしている**（昨年度より児童の肯定的評価増）」も大きな課題で、**子どもたちに自己決定する場面を増やしながらい身に付けさせたい**ところです。そのためには今後も自学を大切にしたいところです。さらに、**3**の「**あいさつがよくできる**」は児童の自己評価や保護者評価からは読み取れませんが、勝山小児童の大きすぎる課題です。職員から見て気持ちの良いあいさつができる一部の子を除き、**あいさつの習慣がない**としか考えられない子が非常に多く心が痛みます。高学年は真面目な児童も多くいますがあいさつに関しては多くの子が良い手本になっていません。相手に伝わらず「気持ちよく」「誰にでも」という観点では大きな課題が残ります。

■一般的に、当事者である子どもの評価は環境に対して早く反応しますが、自己評価は甘くなります。児童の心の様子についてQ-U検査でも再度確認しますが、これからも「今日が楽しく、明日が待たれる学校」をめざし、引き続き知・徳・体をバランスよく伸ばしてまいります。現在、次年度の教育課程を編成しているところです。これらの結果を活用し、より良い教育課程の編成をめざしてまいります。

## マラソン 毎日の持久走 始まる

■最重要課題「体力強化」と「生きるエネルギーの充填」をめざしてスタートした業間運動。最も弱い持久力に特化して業間マラソンとして取り組むようにしました。マラソン記録会はそのまとめです。忍耐力も向上してほしいところです。

■気になる子・・・家の人に話を聞いてもらえているかをたずねた時、ある子がこう言いました。「お母さんはいつもスマホばかり見てる」ある子は泣きながら訴えました。「あんなもん親じゃあねえ」心が痛みます。学校での姿を保護者にどう伝えるべきか悩むことが多いです。気になる子の中には学校での姿と家での姿が180度変わる子もいます。バランスがとれているのなら問題はありませんが、自分を守るために親に嘘をついたり、学校内でトラブルの自作自演をしたりする子は要注意です。我が子を全面的に信じ、守るつもりで行動したことがかえって我が子を追い詰めてしまう。そんな事例にしばしば出くわします。どの子にもトラブルはあります。学校と保護者は、子どもたちのより良い成長を支えるための同士。俯瞰的視点を大切に、キーワードは「共に育てる」「まかせる」です。

